

大歳交流センターだより



No.69 平成26年12月

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035 FAX 922-4036

(行政窓口) TEL 922-2461

人 数 13,274 世帯数 6,090

平成26年10月31日現在



大歳まつり大盛況！



11月2日（日）、『第38回大歳まつり』が大歳地域交流センターで開催されました。前日の雨の影響でステージが中止となりましたが、それに関わらず大勢の皆さまにご来場いただきました。ご来場の皆さま、実行委員の皆さま、ありがとうございました。





昔の遊び・もちつき大会



日 時 12月21日(日) 10:00~13:00 (受付9:30~10:00)

場 所 大歳地域交流センター

大歳地区社会福祉協議会では、三世代交流事業として「昔の遊び」(かるた、けん玉、竹とんぼ、お手玉、こま、あやとりなど)と「もちつき大会」を開催します。

夏の「竹細工・そうめん流し」と並んで三世代で楽しめるイベントです。奮ってご参加ください。

定員は先着80名、参加費(小学生以上)は100円です。

参加希望の方は、お早めにお申し込みください。

お手伝いしていただけるスタッフも大募集中です！
(昔遊び・もちのつき手・台所裏方など)



【申込先】大歳地区社会福祉協議会事務局(大歳地域交流センター内) TEL 922-4035

新成人のみなさんへ

平成27年山口市成人式のお知らせ

日 時 平成27年1月11日(日)

式典14:00~

会 場 山口市民会館

対 象 平成6年4月2日~平成7年4月1日の間に生まれた方

送迎バスの申込期限 12月11日(木)

往路 大歳地域交流センター 13:00発

復路 山口市民会館 15:40発



記念撮影時刻・場所

大歳地区 14:40 展示ホール

問い合わせ・申込先

市社会教育課 (TEL 934-2865)

干支(羊)の壁飾りを作いませんか

日 時 12月22日(月)

10時~12時

場 所 交流センター2階講堂

持参物 布はさみ・ボンデ・手拭

参加費 640円(材料代として)

定 員 25名

申込先 大歳地域交流センター

☎ (922-4035)



交流センター一斉清掃

日 時 12月20日(土) 8:30~

場 所 大歳地域交流センター

※年度末の大掃除です。交流センター定期利用団体は、2名以上参加しましょう！



はつらっクラブ 大人の居場所

日 時 12月20日(土) 13:30~15:30

内 容 ☆名作の朗読(CD)をみんなで聴きましょう！

年の瀬のご多忙な折ですが、少し手を休めて名作の朗読に耳を傾け、一緒に作品鑑賞をなさいませんか。

また、お好きな詩をご用意され、あなたが朗読されるのも楽しいものです。

ご来場をお待ち申し上げます。

場 所 大歳地域交流センター 2階講堂

参加費 100円

問い合わせ

吉野 (TEL 922-5286)

お待ちしております！

※申し込みは要りません。大人から子どもまで、どなたでもお気軽にご参加ください。



「親子歴史講座」「しめ縄づくり」参加者募集！！

【親子歴史講座】

日 時 12月23日（火・祝） 9：00～10：00

場 所 大歳地域交流センター2階講堂

講 師 郷土史家 松前 了嗣 氏

参加費 無料

明治維新の先駆けとなった長州の志士たちの活躍について、山口市や大歳地域に関係する話を交えながら、親子で楽しく学んでみませんか。



平成26年3月29日に開催された親子歴史講座の様子

【しめ縄づくり】

日 時 12月23日（火・祝） 10：00～12：00

場 所 大歳地域交流センター2階講堂

指 導 大歳地区老人クラブの皆さん

参加費 無料

“世界に一つだけしかない“手作りの「お正月飾り・しめ縄」を自分たちで作って、自宅などに飾ってみませんか。



しめ縄作品のイメージ

問い合わせ・申込先 大歳自治振興会子ども部会（920-1700）

※平成27年1月10日（土）午前中、正月に飾ったしめ縄を焼いて、1年の福を招く“どんど焼き”も開催する予定です（お楽しみ料理も・・・）。是非ご参加下さい！！

【大歳地区12月の行事予定】

1日(月) 燃やせないごみの日
 10日(水) 母子相談(10:00～11:00)
 11日(木) 金属・小型家電製品の日
 12日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
 14日(日) 第29回大歳体育振興会長杯争奪
 少年サッカー大会(維新公園ちよるる広場)
 15日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
 17日(水) びん・缶の日
 19日(金) パソコン相談(10:00～12:00)

20日(土) 交流センター定期利用団体一斉清掃
 21日(日) 昔の遊び・もちつき大会(10:00～13:00)
 22日(月) 干支の壁飾りづくり(10:00～12:00)
 23日(火・祝) 親子歴史講座(9:00～10:00)
 しめ縄づくり(10:00～12:00)
 25日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
 26日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
 ※木曜日はプラ容器包装分別収集

吉富藤兵衛への密書 2

高杉晋作は、功山寺決起に始まる藩政府軍との対決にあたり、吉富藤兵衛に資金調達のための密書を送ったことについては、先月号で述べた通りです。

この密書を運んだのは、故来島又兵衛（長州藩士で遊撃隊総督として“禁門の変”に出撃し戦死）の家来だった美祢軍太郎でした。彼の密使としての動向などについて、吉富藤兵衛の談話筆記などからその前後のあらましを紹介します。（以下、『防長回天史』から要約）

「大晦日、藤兵衛は一酌して午睡していた午後4時頃、密会を求めて来た人がいました。その人は、高杉晋作がその心胆を見込んで密使という使命を授けた美祢軍太郎でした。

彼は着衣の襟に縫い込んでいた晋作と所郁太郎の密書2通を取り出して藤兵衛に渡し、馬関方面の状況を述べ、書中の使命である軍資金の借用を請いました。

藤兵衛は彼の安着を祝し、酒を温め晩食を出し、協力を約し、対話して時を過ごしました。

軍太郎の言うには、12月27日夜、高杉に呼ばれ、『一大事の密使だが、命を賭けてこの使命を果たすことが出来るか否か』と問われ、『私、不肖といえども、今まで命を捨て国事に奔走した身ゆえ、いかなる使命かは知りませんが、決して辞することはありません』と答えると、晋作は大いに喜んで、『この密書を山口の吉富に持って行け。途中3関門があるので、これを避けて山中の路を取って、明早朝出発し、如何にしてもこれを届けよ。吉富藤兵衛の志操は予固く信じているが、万一にも変節していたら大事発覚があるので、この一刀で一撃のもとに切り倒し、密書は火中にして、その場で自殺すべし』と言ってこの刀を与えられたと言うのです。」

歴史の栄光の陰には、このように互いに身命を賭しての応接という生々しいエピソードがあったのです。

「藤兵衛は、晋作らが正月上旬を期して大飛躍を試みようとしての軍資金の調達だと察しました。また、井上聞多は親類が座敷牢に入れ、10人ばかりが昼夜監視しているため、誘い出しを直ちに

実行することは困難だと判断しました。

そこで、藤兵衛は取り敢えずあり合わせの貯蔵金二分金200両を返書と共に軍太郎に与え、翌正月元日に馬関へ帰らせました。」

こうして、晋作たちは豪農商の協力のもとに、俗論政府と対決して太田絵堂の戦を制し、倒幕から明治維新への道を開くのです。

（参考） 二分金200両は、現在の価値に直しますと、基準をどこに置くかで異なりますが、約2千万円とみられます。

（大歳史談会、文責： 山内明一）



周布政之助の終焉の地、吉富藤兵衛の旧家。